

北京+20 にむけて—アジア太平洋市民社会フォーラムについて

JAWW（日本女性監視機構） 副代表 織田由紀子

1. 概要

- 1) 日程：2014年11月14-16日
- 2) 場所：11月14日 UNESCAP、15-16日 トラン ホテル (Trang Hotel)
- 3) 主催団体 Steering Committee：アジア太平洋地域で活動する18団体で形成（巻末参照）
- 4) 事務局：APWLD、DAWN
- 5) 支援：UN Women、ESCAP
- 6) 参加者：約480名 日本からは4名（JAWW 3名、アジア女性資料センター1名）、他に ARROW 日本人職員1名、IPPF 日本人職員1名 計2名
事前登録（390名）でみる参加者2ヶタ以上の国別内訳—12カ国で全体の約80%（311名）
- 7) 目的：①11月17-20日の政府間会議「北京+20 にむけて ジェンダー平等と女性エンパワーメントのためのアジア太平洋会議」の決議に反映させるよう働きかける。
②地域の女性運動を継続し 発展させる
- 8) プログラム

日 時		プログラム	概要
【第1日目】 11月14日 13:30	開会	1) 歓迎	市民社会フォーラムの目的 Ravadee Prasertcharoensuk（タイ SD 財団、CS SC の代表）、Kate Lappin (APWLD)
		2) ビデオ ¹	北京以降のフェミニスト運動の軌跡—亡くなった女性たちの写真を含む—会場から拍手
		3) 北京以降	北京行動綱領のレビュー、課題、CS フォーラムの声明の意味—Cai Yiping (DAWN)
	全体 会 1	20年続く闘い—現場からの証言	人権侵害に対し闘っている女性たちの証言—移住労働者（インドネシア）、武力紛争と平和構築（パプアニューギニア）、セックスワーカー、性的少数者（中国）、障がい者（パキスタン）
	全体 会 2	20年続く闘い—トークショー	達成できていない課題、新しい課題—根本要因、成功、失敗経験の共有—フィリピン（少数民族）、性的マイノリティ、ダリット、ARROW
	全体 会 3	北京行動綱領、ポスト2015、SDGs のアカウンタビリティ	アカウンタビリティを高めるためのメカニズムとの連携—ESCAP 社会開発部長、UNWomen、東チモール（政府）、インドネシア(VAW)
【第2日目】 11月15日 終日	自主ワークショップ		3セッションに分けて各セッション6つずつ合計18の分科会開催→CS 声明へのインプット
	CS コーカス		地域別、若い女性のコーカス→CS 声明へのインプット
	ドラフティング委員会		

¹ 【YOUTUBE】"20 years since Beijing, Asia Pacific women look back"
<http://www.youtube.com/watch?v=K0pyl8jYd7k>

	フィルムショー	
【第3日目】	全体会1	自主ワークショップからの報告
11月16日	全体会2	CS コーカスからの報告
13:00-17:00	全体会3	CS 声明の発表と採択
	閉会	

2. JAWW のワークショップ（2日目、自主ワークショップにおいて）

「アジアにおける女性と女兒の情報へのアクセスを通じた権利の推進」

Advancing the Rights of Women and Girls in Asia through access to rightful information

オーガナイザー：

- JAWW (Japan Women's Watch)
- Media Monitor for Women Network – China
- Pacific Youth Council

キーメッセージおよび市民社会声明へのインプット（JAWWNGONGO レポートから）

- 新しいネット犯罪に対応できる女性と女兒の権利を守るための法制度
- ネット犯罪被害女性と女兒の保護と支援
- ネット犯罪から守るための権利に関する教育と訓練

3. 北東アジアコーカス（ARROW 堀井由香里さんまとめより）

- 1) 周辺化された女性に対する暴力
- 2) 女性の経済参加の増加、ワークライフ・バランス、不払い労働、ケア労働
- 3) メディア等を通じてジェンダーステレオタイプが続いている
- 4) 伝統的な性的観念と多様な性的指向の表出
- 5) 軍事費の増加と平和と安全保障に関する女性の声の不在
- 6) 女性の人権活動家に対する抑圧やハラスメント
- 7) 女性は次世代労働力を産む存在とみなされ人権に基づく政策がとられていない。

4. Young Women's Caucus

進歩：初等教育への就学、雇用機会へのアクセス、政治的参加の増大

課題：若い女性特有の課題、ニーズがあることを認め、若い女性の権利を保障すること

要求：政治分野、意思決定、アカウントビリティにおける若い女性の参加。

政府は、すべての若い女性の経済的エンパワーメントを進めるために、平等な雇用機会および賃金の権利を保障する法律、政策を策定すべき。これには少数者、LBTG、障害者、先住民、HIV/AIDS 感染者、セックスワーカー、ドラッグ使用者、移住者の若い女性を含む。

若い女性の性的リプロダクティブ・ヘルス/ライツサービス、情報および包括的性教育へのアクセスの保障。女性に対する暴力の定義に、若い女性特有の脆弱性、多様な形態の暴力を含める。多様な形態の暴力には早婚、強制的結婚、オンラインのインターネット暴力、デート暴力、教育における暴力、有害な伝統的慣習、紛争中および後の暴力を含む。

5. 「市民社会フォーラム声明」

格差、富の偏在、貧困の多数は女性。移住者、先住民族、難民、農村および都市の貧困層、障がい女性、HIV 罹患者、少数民族、多様な性的少数者(SOGI: sexual orientations and gender

identities)は周辺においやられ人権が守られていない。

北京行動綱領の実施の障壁は、拘束力のある**アカウンタビリティのメカニズム**の欠如にある。アカウンタビリティを機能させるためには、時限的、透明性を持った、報告とモニタリング、資金、情報へのアクセスが必要だが現在は不足している。

開発正義(Development justice)とは、国際的、貧富、性別に存在する、富・権力・資源・機会の格差を無くし、変化をもたらすための5つの正義を実行すること。すなわち、i)再分配、ii)経済、iii)環境、iv)ジェンダー・性・社会的正義、v)アカウンタビリティ。

優先的関心領域：

- 1) 移住女性
- 2) 権力における女性＝女性の政治参加
- 3) 性的およびリプロダクティブ・ヘルス・ライツ
- 4) HIVの女性と少女
- 5) 女性と国際的経済枠組み
- 6) 女性と環境
- 7) 性的指向、ジェンダー・アイデンティティの表現
- 8) 女性と女兒に対する暴力
- 9) 障がいのある女性
- 10) 女性と武力紛争
- 11) 農村女性
- 12) 女性と女兒の情報へのアクセス
- 13) 女性とメディア
- 14) 女性の人権と開発アジェンダ

<http://apwld.org/asia-pacific-civil-society-beijing-20-statement/>

主催団体 Steering Committee：アジア太平洋地域で活動する18団体

- 1) Asia Indigenous Peoples Pact (AIPP)
- 2) Asia Pacific Women Watch (APWW)
- 3) Asia Pacific Forum on Women, Law and Development (APWLD)
- 4) Asia Pacific Resource and Research Centre for Women (ARROW)
- 5) Asia Pacific Women with Disability (APWWD) United
- 6) Development Alternatives with Women for a New Era (DAWN)
- 7) Diverse Voices and Action for Equality (DIVA)
- 8) Fiji Women's Rights Movement
- 9) FemLINKPACIFIC
- 10) Foundation for Women Thailand
- 11) Global Alliance Against Traffic in Women (GAATW)
- 12) Isis International
- 13) International Women's Rights Action Watch (IWRAP) Asia Pacific
- 14) Pacific Youth Council
- 15) Sustainable Development Foundation
- 16) Women's Alliance for Communities in Transition – South Asia (WACT-SA)
- 17) Women's Global Network for Reproductive Rights (WGNRR)
- 18) Women Organizing for Change in Agriculture & Natural Resource Management (WOCAN)

「北京+20」に向けてーアジア・太平洋地域レビュー等についてー聞く会(第3回)」



Beijing+20 Campaign

Visit website »

<http://www.unwomen.org/en/csw/csw59-2015>

北京+20 アジア太平洋市民社会 フォーラムについて

JAWW(日本女性監視機構)
副代表
織田由紀子

北京+20 アジア太平洋 市民社会フォーラム

Asia Pacific
Civil Society Forum on
BEIJING+20
14-16 November 2014
Bangkok, Thailand

- 日程: 2014年11月14-16日
- 場所: UNESCAP & トラン ホテル
- 主催団体 (Steering Committee):
アジア太平洋地域で活動している18団体
事務局: APWLD、DAWN
- 支援: UN Women
- 参加者: 480名
※日本からは4名(JAWW3名、アジア女性資料センター1名)
他にARROW、IPPF日本人職員各1名 計2名

市民社会フォーラムの目的

- アジア太平洋地域の声を「市民社会フォーラム声明」として発信する。
- 11月17-20日の政府間会議「北京+20にむけて ジェンダー平等と女性エンパワーメントのためのアジア太平洋会議」の草案に反映させるよう働きかける。
- 地域の運動を継続し発展させる。



第1日目UNESCAPでの 会場の様子



アジア女性資料センター濱田さん撮影

<https://www.facebook.com/AJWRC/photos/pb.104884539605421.-2207520000.1417068545./740486809378521/?type=1&theater>

プログラム

日 時		
【第1日目】 11月14日 13:30	開会	① 歓迎、② ビデオ*、③ 北京以降
	全体会1	20年続く闘い—現場からの証言
	全体会2	20年続く闘い—トークショー
	全体会3	北京行動綱領、ポスト2015、SDGsのアカウントビリティ
【第2日目】 11月15日	自主ワークショップ	
	宣言草案作成	
	フィルムショー	
【第3日目】 11月16日 13:00-17:00	全体会1	自主ワークショップからの報告
	全体会2	CSコーカスからの報告
	全体会3	CS声明草案の発表と採択
	閉会	

開会



開会



全体会1 現場からの証言



全体会2 20年続く闘い — トークショー



全体会3 アカウンタビリティ